

目黒稲門会 EXPRESS

★★★★★2002年2月発行／第9号★★★★★

2002年新年会、目黒雅叙園にて開催！

1月14日成人の日、午後6時より目黒雅叙園において、中上美代子幹事の司会のもと、新年懇親会を開催しました。新年会も会を重ね、今年で3回目。それを記念しての講演を真仁田会長を通じて東京都副知事・青山氏にお願いしました。同氏は「後藤新平と東京」と題する講演を行なってくださいました。

開会に当り、真仁田会長は新年の挨拶のなかで、我が早稲田大学125周年募金への協力に触れるとともに青山氏の人となりを紹介されました。(目黒区長・薬師寺克一氏は会長挨拶のあと、区の状況報告と当会への祝辞を述べられ、時間の都合上退場されました。)

青山氏の講演は、後藤新平の先見の明についてが中心でした。80年前、後藤はいち早く都の防災・交通・インフラが必要かを認識し、実行したという事実をお話いただきました。また後輩・正力松太郎氏の念願であった新聞事業の展開に後藤が私財を投げ打って援助したことなど、我々が心すべき秘話もいろいろお話いただきました。

土方監事の乾杯につづき、金屏風を背に坂東流・阿部雅子さんに新春にふさわしい「白扇」を舞っていただきました。拍手のあと、樋口事務局長のお孫さんと中西幹事が花束を贈呈しました。

次に来賓の浜口氏、目黒三田会・上原氏&深津氏、世田谷稲門会・寺沢氏、品川稲門会・桜井氏のご紹介を行いました。アトラクションに移り、海口氏(カラオケ部会長)に司会が交替。何よりも「ノドが自慢」のカラオケ部会の面々が次々と登場して得意の持ち歌を披露。一方ダンス部会の元気者たちも「ルンバ」「ブルース」などを踊りだし、大いに盛り上がりました。

次に品田一良相談役による福引。一喜一憂の歓声のなか終了し、再びカラオケ再開。中上司会者の提案により、品田研一氏の指揮で高らかに校歌斉唱。土川副幹事長のリードで早稲田・慶応・当会にエールを送り、中沢副会長の閉会の辞により午後8時に散会しました。(樋口・記)

●出席者

<来賓>東京都副知事青山氏、目黒区長薬師寺克一氏、目黒区水泳連盟会長浜口喜博氏、目黒三田会会長上原知男氏、同副会長深津和彦氏、世田谷稲門会事務局長寺沢隆夫氏、品川稲門会会長桜井輝隆氏

<会員>浅海敏之、阿部喜久雄夫妻、阿部隆彦、荒瀬修一郎、有山勇次郎、安藤虎雄、市川ルミ、石嶋惣一、伊藤源喜、井村正陽、岩崎正夫、海口昭治、榎本茂、大賀正雄、大野利幸夫妻、大山高明、岡田鐘吾、小川裕正夫妻、尾崎充、海沼美智子、加藤栄護夫妻、川崎真樹子、岸猛弘、桑野祐光、計良勝利、郡山弘文、品田一良夫妻、品田研一、島田久家、杉田則弘、鈴木正明、田島順一郎、土川俊雄、手塚仁雄、戸塚悟、外岡明、永井順一郎、中上美代子、中沢信平、長島清志、中田陽久、中西千可子、林田雅敏夫妻、樋口定広夫妻十孫・米田麻美、土方正巳、平沢栄夫、藤岡長世、松岡雅敏、松戸猛、松原進一、真仁田勉夫妻、水野弘文、宮下光司、森家一三、保井正、梁瀬陽太郎、八幡和三郎夫妻、横山大、渡辺三郎、渡辺明久 (五十音順)



●「後藤新平」を先見性と実行力の視点から分析・解説する青山講師。



●出席者は、青山講師の知的で説得力ある講演に聞き入った。